

第五次座間市総合計画  
— ざま未来プラン —

進行状況  
(策定～初年度)

座間市  
令和5年8月

# 目次

はじめに.....	3
1 ざま未来プランの進捗管理について .....	4
(1) 進捗管理方法の見直し.....	4
(2) ざま未来プランの進捗管理.....	4
2 ざま未来プランの進捗管理における評価・検証方法について .....	5
(1) 内部検証 .....	5
(2) 外部評価 .....	5
輝く未来戦略.....	6
(1) 転入転出者.....	7
(2) 人口 .....	8
(3) 合計特殊出生率.....	8
分野別政策・施策 .....	9
政策1 共に学び、健やかに育つまちづくり .....	10
施策1 子育て世代包括支援 .....	10
施策2 子どもたちの健全育成.....	11
施策3 保育.....	11
施策4 義務教育.....	11
外部評価.....	12
政策2 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり .....	14
施策5 地域の魅力向上 .....	14
施策6 市民協働.....	15
施策7 産業振興.....	16
外部評価.....	16
政策3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり .....	18
施策8 安全・安心な生活環境の整備.....	18
施策9 防災・減災 .....	19
施策10 地球温暖化対策の推進.....	20
施策11 資源循環の推進.....	20
施策12 消防力の強化 .....	21
外部評価.....	21
政策4 健康に暮らせるまちづくり .....	22
施策13 健康医療 .....	22
施策14 スポーツ .....	23

施策 1 5	生涯学習・文化芸術	23
外部評価		24
政策 5	共に認め合い、支え合うまちづくり	25
施策 1 6	地域福祉	25
施策 1 7	高齢者の支援	26
施策 1 8	介護保険	27
施策 1 9	障がい者の支援	27
施策 2 0	生活困窮者の自立支援	28
外部評価		28
政策 6	緑あふれる快適なまちづくり	29
施策 2 1	都市計画	29
施策 2 2	市街地整備	30
施策 2 3	公園緑政	30
施策 2 4	道路	31
施策 2 5	上下水道	31
外部評価		32
政策 7	持続可能な行財政運営	33
施策 2 6	行政経営	33
施策 2 7	情報発信	33
施策 2 8	基地政策	34
施策 2 9	デジタル化推進	34
施策 3 0	多様性社会への対応	35
施策 3 1	財政運営	35
施策 3 2	ファシリティマネジメントの推進	35
外部評価		36

## はじめに

本市は、令和5年3月に「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」を目指すまちの姿とする第五次座間市総合計画—ざま未来プラン—（以下「ざま未来プラン」という。）を策定しました。計画期間を令和5年度から令和12年度までの8年間とするざま未来プランは、市の最上位計画として位置付けており、人口減少の進行、地域社会の課題、激甚化・頻発化する自然災害等の基礎自治体を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら、目指すまちの姿の実現に向けて総合的かつ計画的なまちづくりを行うための指針としています。

この度、ざま未来プランに掲げる政策及び施策について、効率的かつ効果的に計画を推進していくに当たり、本市の現状を確認するものとして令和4年度決算における実績を踏まえた令和5年7月末現在の進行状況を取りまとめました。これらの政策及び施策の進行状況を踏まえながら、今後もざま未来プランを着実に推進していきます。

なお、令和6年度以降の進行状況については、ざま未来プランの政策及び施策体系と各年度の決算が連動した形でお示しします。

## 1 ざま未来プランの進捗管理について

### (1) 進捗管理方法の見直し

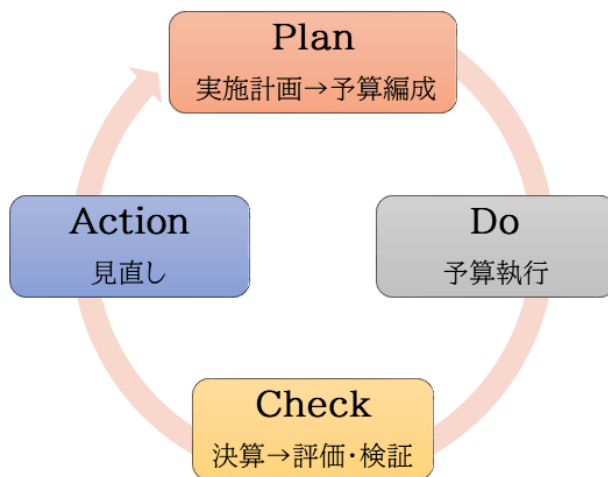
第四次座間市総合計画においては、行政活動の改善を目的に平成14年度から導入した行政評価システムを総合計画の進捗管理ツールとして位置づけていました。

一方、令和2年度行政評価における外部評価委員総評では、「行政評価の仕組みには、改善が必要と思われる点がいくつか存在します。」とコメントがなされており、行政評価そのものが目的化することを避け、業務の効率化や質の向上につなげていくべきとの観点から、ざま未来プランの策定に併せて進捗管理の方法を見直すこととしました。

### (2) ざま未来プランの進捗管理

ざま未来プランの進行状況を確認するツール（手段）が、市民、職員等にとって分かりやすく簡潔であるとともに、実施計画、予算、決算等が連動した効果的な仕組みとなるPDCAサイクルを構築します。

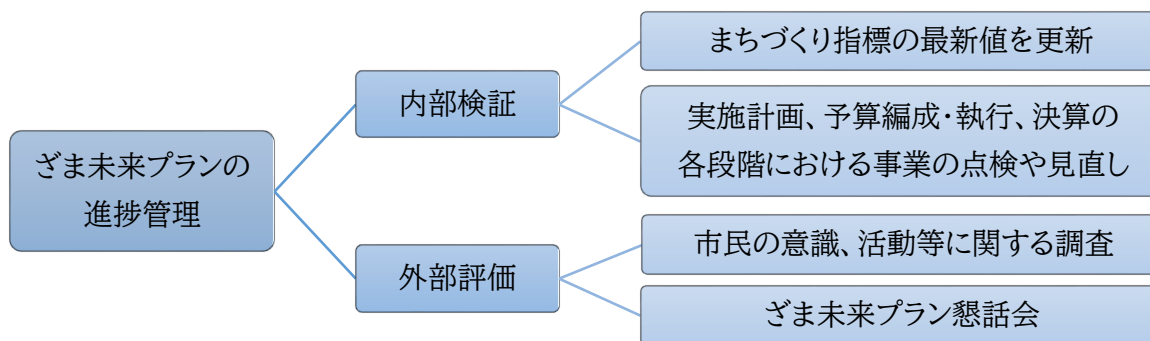
なお、これまで「行政評価システム」と「総合計画の進捗管理」を使い分けてきましたが、ざま未来プランの進捗管理を行うことが一般的な行政評価の仕組みそのものであることから、一般用語として馴染みの薄い「行政評価システム」という用語は使わずに「ざま未来プランの進捗管理」と表現を統一します。



**Check**  
決算→評価・検証

Check（決算→評価・検証）の段階で事業の成果及び予算執行の結果を連動させ、目指すところは「ざま未来プランの実現」と共通認識を持つことができれば、その後の Action（見直し）、Plan（実施計画→予算編成）で何をすべきか明確になります。

## 2 ざま未来プランの進捗管理における評価・検証方法について



### (1) 内部検証

ざま未来プラン基本構想で掲げる目指すまちの姿の実現に向け、政策及び施策の計画体系に則した事業の執行に必要な組織体制を整備し、計画体系と組織の連動により、政策や分野ごとの課題への対応や責任体制を明確にしています。

各施策を担当する課では、まちづくり指標の進捗状況を管理しており、令和5年4月～7月の期間で最新値を確認し更新しました。

### (2) 外部評価

#### ① 市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート）

- ・ 目的：LINEを活用した市民の意識、活動等に関する調査の実施により、ざま未来プランで目指すまちの姿「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」を実現するために掲げる政策及び施策の進捗状況等を把握することを目的とする。
- ・ 実施期間：令和5年5月9日（火）から令和5年5月18日（木）まで（10日間）
- ・ 実施方法：LINEのアンケート機能を使用して市民アンケートを作成し、座間市LINE公式アカウントの友だち登録者のうちメッセージの受信設定が有効になっている74,940人に対して配信。※無記名調査
- ・ 回答結果：回答者数 3,899人（うち市内在住者 3,758人）

#### ② ざま未来プラン懇話会

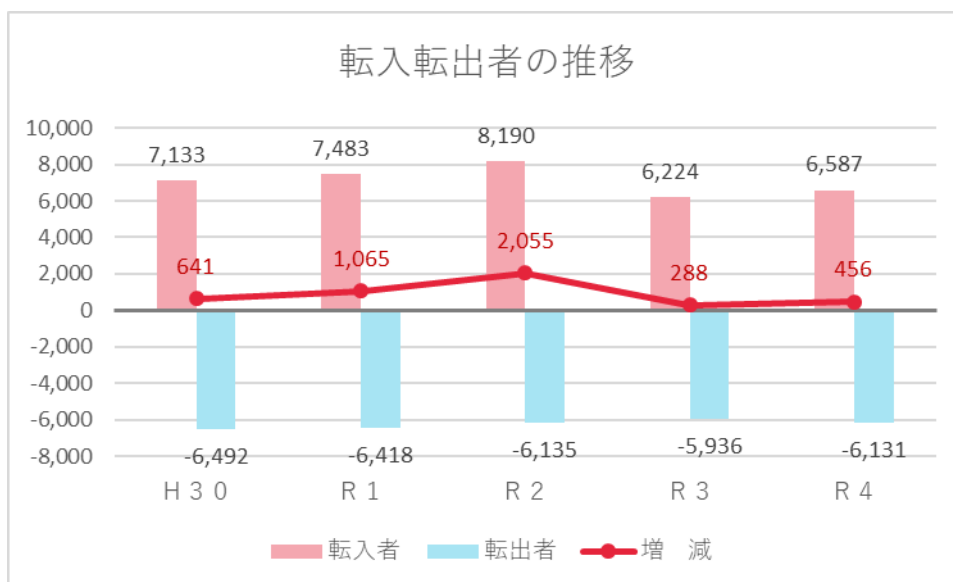
- ・ 目的：ざま未来プランで掲げる政策及び施策の進捗状況の検証並びにその評価等に関し、様々な分野における有識者等から意見を聴取することを目的とする。
- ・ 日時：令和5年7月3日（月）15時～17時半
- ・ 場所：座間市役所5階 5-4、5-5会議室
- ・ 出席委員：公募市民、市民団体、民間企業等 計12人

# 輝く未来戦略

輝く未来戦略は、目指すまちの姿の実現に向けて、特定の政策や施策にとらわれずに分野横断的に取り組むものであるため、数値目標は設定せずに「転入転出者」、「人口」及び「合計特殊出生率」を時点における達成状況を把握するための参考指標としています。

(1) 転入転出者（神奈川県人口統計調査 1月～12月統計） (人)

	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
転入者	7,133	7,483	8,190	6,224	6,587
転出者	6,492	6,418	6,135	5,936	6,131
増 減	641	1,065	2,055	288	456

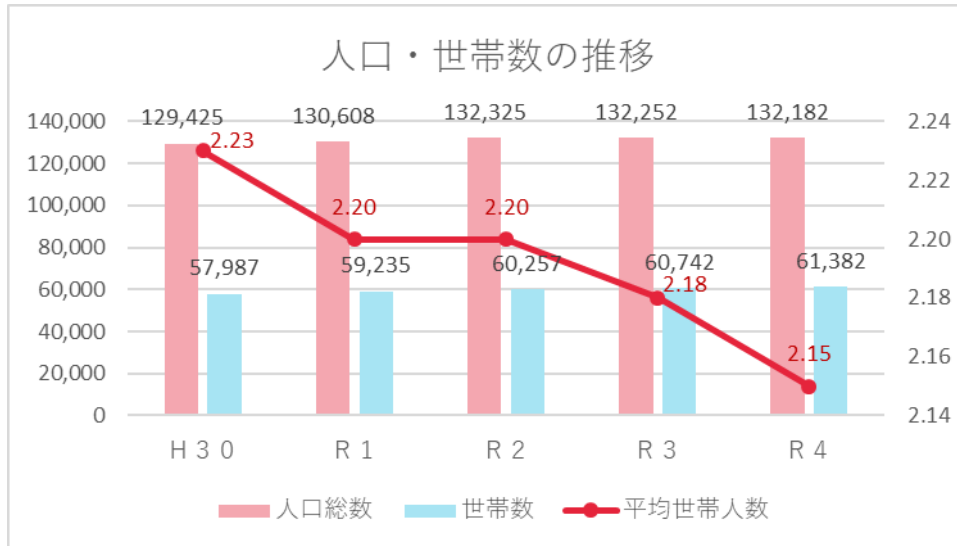




(2) 人口（10月1日現在）

	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
人口総数（人）	129,425	130,608	132,325	132,252	132,182
世帯数（世帯）	57,987	59,235	60,257	60,742	61,382
平均世帯人数（人）	2.23	2.20	2.20	2.18	2.15

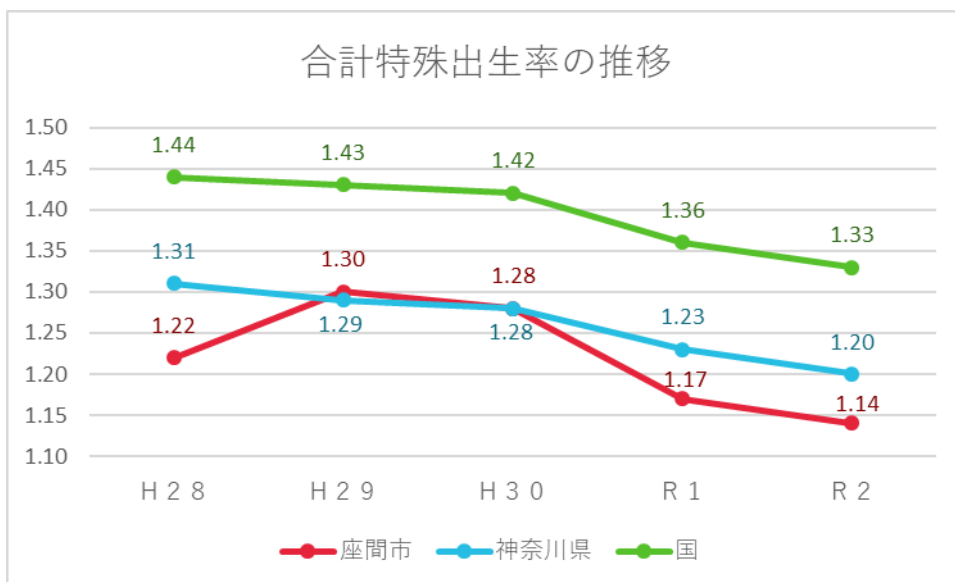
※ 人口及び世帯数は、平成27年及び令和2年国勢調査確報値を基礎として住民基本台帳法及び戸籍法に定める届け出等の増減を加減して推計したものです。



(3) 合計特殊出生率

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
座間市	1.22	1.30	1.28	1.17	1.14
神奈川県	1.31	1.29	1.28	1.23	1.20
国	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33

※座間市及び神奈川県の数値は神奈川県衛生統計年報から、国の数値は厚生労働省人口動態統計から引用しています。



# 分野別政策・施策

## 政策 1 共に学び、健やかに育つまちづくり

共に学び、健やかに育つまちづくりを実現するために、4施策と9のまちづくり指標を設定しています。

政策1に関する市民の評価（市民満足度）は、実現されていると思う市民の割合が27%でした。まちづくり指標のうち、前進が4指標、後退が1指標、現状維持又は更新なしが4指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策 1** 市内の子育て支援センターの利用者数及び出張相談会相談件数は増加していますが、赤ちゃん訪問の実施率は低下しており、さま未来プラン懇話会（以下「懇話会」という。）では切れ目のない支援に関する意見がありました。

**施策 2** 児童ホーム待機児童数及び青少年育成事業の参加者数は増加しており、懇話会では子どもたちが過ごす場所や環境（児童ホーム等）に関する意見がありました。

**施策 3** 保育所の待機児童数は基準値から増減がありませんが、懇話会では子どもたちが過ごす場所や環境（保育所等の整備、保育士不足等）に関する意見がありました。




**施策 4** 各指標は更新していませんが、懇話会では子どもたちが過ごす場所や環境（学校教育）に関する意見がありました。

### 施策 1 子育て世代包括支援

こども家庭課

#### ■ 施策の方向性

1 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援やサービスを提供します。

まちづくり指標			
子育て支援センター利用者数 市内の子育て支援センターの利用者数（年間）	目標値	R12	38,000 人
	基準値	R3	25,354 人
	最新値	R4	26,389 人
	進捗		
赤ちゃん訪問の実施率 赤ちゃんがいる世帯に対して実施する新生児訪問・乳児家庭全戸訪問・未熟児訪問の実施率（年間）	目標値	R12	100 %
	基準値	R3	97.1 %
	最新値	R4	95.4 %
	進捗		
出張相談会相談件数 子ども・子育て支援として実施している利用者支援事業（基本型）出張相談会の相談件数（年間）	目標値	R12	720 人
	基準値	R3	75 人
	最新値	R4	192 人
	進捗		

■ 施策の方向性

1 子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進します。

まちづくり指標			
児童ホーム待機児童数	目標値	R12	0 人
児童ホーム利用申込に対する待機児童数（4月1日現在）	基準値	R4	64 人
	最新値	R5	49 人
	進捗		↗
青少年育成事業の参加者数	目標値	R12	8,000 人
青少年フェスティバル・青少年芸術祭・成人式・青少年センター 主催事業の参加者数（年間）	基準値	R3	2,514 人
	最新値	R4	6,868 人
	進捗		↗

施策3 保育

■ 施策の方向性

1 保育所の待機児童を解消します。

まちづくり指標			
保育所の待機児童数	目標値	R12	0 人
保育所等利用申込に対する待機児童数（4月1日現在）	基準値	R4	50 人
	最新値	R5	50 人
	進捗		→

施策4 義務教育

■ 施策の方向性

1 児童生徒が学校で楽しく生活できる環境づくりに努めます。

まちづくり指標			
学校生活が楽しいと思っている児童生徒の割合	目標値	R12	92 %
アンケートで「学校生活が楽しいと思っている」と回答した児童 生徒の割合（調査時点）	基準値	R4	88 %
	最新値		更新なし
	進捗		—

## 2 地域とともにある学校づくりを目指します。

まちづくり指標			
地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる教職員の割合	目標値	R12	93 %
	基準値	R4	89 %
アンケートで「地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる」と回答した教職員の割合（調査時点）	最新値	更新なし	
	進捗	—	
地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる保護者の割合	目標値	R12	83 %
	基準値	R4	79 %
アンケートで「地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる」と回答した保護者の割合（調査時点）	最新値	更新なし	
	進捗	—	

## 外部評価

### ■ 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート））

政策1 共に学び、健やかに育つまちづくりが実現されていると思うか。

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,758人	1,030人	1,048人	1,680人
構成比	100%	27%	28%	45%

### ■ 現状の課題や今後の方策に関する意見等

#### 切れ目のない支援

- ・ 切れ目のない支援について、受け手側としては量的に不足している部分、切れ目が生じている部分がある。
- ・ 切れ目のない支援を充実させて、取りこぼすことのない行政のサポートであってほしい（現状の支援に対して、回数や頻度の増加、対象者の基準緩和等）。

#### 子どもたちが過ごす場所や環境

- ・ 安心して子どもを預けられる場所が不足している（保育園、保育園の一時保育、児童ホーム等）。
- ・ 現状及び将来的な保育士不足の懸念がある。
- ・ 気候変動に伴う高温により、子どもたちの外遊びに対する安全面での不安がある。
- ・ 保育園の待機児童対策や多様な利用者ニーズに対応していくためには、全国的にも増えている認定こども園の検討が必要。
- ・ 保育所等の施設整備は短期的な課題解決だけではなく、中長期的に事業者や従業員のことを考えながら、広域連携も含めて対応してほしい。

- ・ 子どもたちが過ごす場所や環境を充実させるために取組の強化が必要（気候に左右されない遊び場、多世代が交流できる環境、放課後子ども教室等）。
- ・ 学校教育における職業体験等による将来的な保育士を確保する仕組みづくりや座間市への愛着を高める取組を市内で行う必要がある。

※ 各政策の外部評価の意見は、ざま未来プラン懇話会において具体的な施策について御意見があったものを掲載しています。

## 政策2 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり

地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりを実現するために3施策と11のまちづくり指標を設定しています。

政策2に関する市民の評価（市民満足度）は、実現されていると思う市民の割合が27%でした。まちづくり指標のうち、目標達成が1指標、前進が4指標、後退が3指標、現状維持又は更新なしが3指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策5** 入込観光客数及びふるさと納税返礼品送付件数は増加していますが、座間市に愛着や誇りを持っている市民の割合は低下し、特産品等認定数は基準値から増減がありません。懇話会ではシティプロモーションや地域資源の活用に関する意見がありました。

**施策6** 市民参加手続数は目標値を達成し、コミュニティ施設利用者数及び地域活動に参加した人の割合は増加及び上昇していますが、協働事業に資する協定数は更新していません。懇話会では協働のまちづくりに関する意見がありました。


**施策7** 製造品出荷額等は更新していませんが、商業事業所数及び担い手への農地の集積面積は減少しており、懇話会では地域経済の活性化に関する意見がありました。

### 施策5 地域の魅力向上

地域プロモーション課

#### ■ 施策の方向性

1 シティプロモーションを推進し、郷土に対する愛着と誇りの醸成や地域資源の活用に取り組みます。

まちづくり指標			
座間市に愛着や誇りを持っている市民の割合 アンケートで「座間市に愛着や誇りを持っている」と回答した市民の割合（調査時点）	目標値	R12	75 %
	基準値	R4	69 %
	最新値	R5	65 %
	進捗		
特産品等認定数 特産品、推奨品として認定されている品目数（3月31日現在）	目標値	R12	34 件
	基準値	R4	24 件
	最新値	R4	24 件
	進捗		→

2 関係人口や交流人口の拡大に取り組みます。

まちづくり指標			
入込観光客数 市内を訪れた観光客数（年間）	目標値	R12	512,000 人
	基準値	R3	109,790 人
	最新値	R4	140,020 人
	進捗		↗
ふるさと納税返礼品送付件数 ふるさと納税に対する返礼品の送付対象となった寄附件数（年間）	目標値	R12	12,000 件
	基準値	R3	2 件
	最新値	R4	2,013 件
	進捗		↗

## 施策6 市民協働

市民協働課

### ■ 施策の方向性

1 市民等と行政が対等の立場で役割と責任を担い合い、協働してまちづくりを推進します。

まちづくり指標			
協働事業に資する協定数 座間市市民協働推進条例第7条に基づく協働事業により締結されている協定数（4月1日現在）	目標値	R12	197 協定
	基準値	R4	164 協定
	最新値		更新なし
	進捗		—
市民参加手続数 座間市市民参加推進条例第6条に基づき行った市民参加手続数（年間）	目標値	R12	30 件
	基準値	R3	24 件
	最新値	R4	34 件
	進捗		達成

2 市民等が主体的に地域活動等を実践できるように支援します。

まちづくり指標			
コミュニティ施設利用者数 市内のコミュニティセンター及びプラっとごまの利用者数（年間）	目標値	R12	332,000 人
	基準値	R3	153,858 人
	最新値	R4	173,829 人
	進捗		↗
地域活動に参加した人の割合 アンケートで「地域の活動に参加した」と回答した市民の割合（調査時点）	目標値	R12	50 %
	基準値	R4	33 %
	最新値	R5	38 %
	進捗		↗



■ 施策の方向性

1 関係機関と連携し、商業及び工業の活性化を支援します。

まちづくり指標			
製造品出荷額等 市内の工業における製造品の出荷額等（年間）	目標値	R12	293,828 百万円
	基準値	R1	289,493 百万円
	最新値	更新なし	
	進捗	—	
商業事業所数 市内の卸売業、小売業、飲食サービス業及び生活関連サービス業の事業所数（6月1日現在）	目標値	R12	1,408 事業所
	基準値	H28	1,374 事業所
	最新値	R3	1,302 事業所
	進捗	→	

2 耕作農地の規模拡大や地産地消の推進による農業経営の安定化を支援します。

まちづくり指標			
担い手への農地の集積面積 農業の担い手が農地を借り受けている面積（3月31日現在）	目標値	R12	39 h a
	基準値	R3	19.5 h a
	最新値	R4	14.1 h a
	進捗	→	

外部評価

■ 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート））

政策 2 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりが実現されていると思うか。

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,758 人	1,007 人	1,466 人	1,285 人
構成比	100%	27%	39%	34%

■ 現状の課題や今後の方策に関する意見等

シティプロモーション

- ・ 勤務地が座間という立場からすると「座間といえばこれ」と言えるものが少なく、何に対して愛着や誇りを感じていけるようになるのかまだ分からない。
- ・ 市民が何に対して愛着や誇りを感じているのか、世代間ギャップの調査が必要。若い世代が今後の座間市についてどのように考えているのかを知ることが重要。

- ・ これからの世代を担う子どもたちが、ずっと座間市に住んでいたい、いずれ戻って来たいと思えるまちになることが重要。

### 地域資源の活用

---

- ・ 座間市に見合った特産品及び推奨品が少ない。
- ・ 特産品や推奨品、ふるさと納税返礼品の新たな掘り起こしが必要。
- ・ 座間市を訪れる人に対しては、観光・グルメ・お土産のトライアングルで捉えていけると良い。

### 協働のまちづくり

---

- ・ 自治会の会員数が減少傾向にある。
- ・ 市民、市民団体及び事業者と行政が連携することで、行政だけでは手が届かないことや様々な取組が実践できる。そのための環境や仕組みづくりが重要。

### 地域経済の活性化

---

- ・ 事業者や起業希望者への支援メニューが使いづらい。
- ・ 商店会や事業者が事業継続や経営安定に関して様々な問題を抱えている（高齢化、後継者、人手不足、資金繰り、脱炭素社会への対応等）。
- ・ 産業振興のまちづくり指標がなかなか更新されないため、進捗状況や取組が分かりづらい。
- ・ 商店会や事業者への支援として、事業者の声を聞きながら座間市に合った支援を検討する必要がある。
- ・ 産業振興として、現状や将来のビジョンを「見える化」しておく必要がある。
- ・ 住むことと働くことが近い環境が一番良い地域コミュニティという視点から施策に取り組んでもらいたい。

## 政策3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

安全・安心で環境にやさしいまちづくりを実現するために、5施策と13のまちづくり指標を設定しています。

政策3に関する市民の評価（市民満足度）は、実現されていると思う市民の割合が43%でした。まちづくり指標のうち、目標達成が2指標（現状を維持することを目標にしている2指標）、前進が4指標、後退が4指標、現状維持が3指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策8** 環境基準の達成率は維持できていますが、交通事故件数及び刑法犯罪件数は増加しています。

**施策9** 緊急情報の受信登録率、防災訓練等実施率及び自主防災組織設置率は上昇していますが、避難所運営委員会設置率は基準値から増減がありません。

**施策10** 二酸化炭素排出量（市域全体）は減少しており、懇話会ではカーボンニュートラルに関する意見がありました。

**施策11** （家庭系）総排出量に占める資源物量の割合は低下しています。


**施策12** 消防施設等の整備率及び消防団員の充足率は基準値から増減がありませんが、現場での応急手当の実施率は低下しています。

### 施策8 安全・安心な生活環境の整備

生活安全課

#### ■ 施策の方向性

- 交通安全や防犯に対する意識の向上を図るとともに、地域や警察、関係団体等と連携し、交通事故や犯罪の未然防止や抑止につながる取組を推進します。

まちづくり指標			
交通事故件数 市内で発生した交通事故の件数（年間）	目標値	R12	210件
	基準値	R3	334件
	最新値	R4	380件
	進捗		
刑法犯罪件数 市内で発生した刑法犯罪の件数（年間）	目標値	R12	400件
	基準値	R3	527件
	最新値	R4	571件
	進捗		

2 環境保全の意識を高め、暮らしやすい生活環境を維持します。

まちづくり指標			
環境基準（地下水）の達成率	目標値	R12	100%
地下水に設定されている環境基準の達成率（3月31日現在）	基準値	R3	100%
	最新値	R4	100%
	進捗		達成
環境基準（騒音）の達成率	目標値	R12	100%
騒音に設定されている環境基準の達成率（3月31日現在）	基準値	R3	100%
	最新値	R4	100%
	進捗		達成

施策9 防災・減災

危機管理課

■ 施策の方向性

1 防災・減災に対する啓発や訓練により、地域防災力を強化します。


まちづくり指標			
緊急情報の受信登録率	目標値	R12	100 %
市 LINE 公式アカウントの受信設定で防災・減災分野を登録している人の割合（4月1日現在）	基準値	R4	16.2 %
	最新値	R5	17.6 %
	進捗		↗
防災訓練等実施率	目標値	R12	100 %
自主防災組織が設置されている単位自治会において、防災訓練等が実施されている割合（年間）	基準値	R3	16.4 %
	最新値	R4	39.4 %
	進捗		↗

2 予測できない災害に備えて体制や基盤を整備し、災害対応力を強化します。

まちづくり指標			
自主防災組織設置率	目標値	R12	100 %
単位自治会のうち、自主防災組織が設置されている割合（4月1日現在）	基準値	R4	68 %
	最新値	R5	73.6 %
	進捗		↗
避難所運営委員会設置率	目標値	R12	100 %
避難所運営委員会が設置されている一次避難所の割合（4月1日現在）	基準値	R4	75 %
	最新値	R5	75 %
	進捗		→

■ 施策の方向性

1 廃棄物の減量を通じて、脱炭素社会の実現を目指します。


まちづくり指標			
二酸化炭素排出量（市域全体）	目標値	R12	298.9 千 t-CO2
市域で排出された二酸化炭素排出量換算による温室効果ガス 排出量（年間）	基準値	H25	560.2 千 t-CO2
	最新値	R1	487.9 千 t-CO2
	進捗		

2 再生可能エネルギーの導入を推進し、脱炭素社会の実現を目指します。

まちづくり指標			
〔再掲〕 二酸化炭素排出量（市域全体）	目標値		
	基準値		
	最新値		
	進捗		

■ 施策の方向性

1 資源物を有効活用します。

まちづくり指標			
（家庭系）総排出量に占める資源物量の割合	目標値	R12	40 %
家庭系ごみの年間総排出量に対する資源物回収量の割合（年 間）	基準値	R3	33 %
	最新値	R4	32.4 %
	進捗		

2 資源物の適正な分別を促し、効率的な処理を行います。

まちづくり指標			
〔再掲〕 （家庭系）総排出量に占める資源物量の割合	目標値		
	基準値		
	最新値		
	進捗		

■ 施策の方向性

1 消防の責務を十分に果たすため、消防力の充実強化を図り消防施設等を整備します。

まちづくり指標			
消防施設等の整備率	目標値	R12	100 %
消防力の整備指針に基づく消防施設等（車両）の整備率（3月31日現在）	基準値	R3	92.9 %
	最新値	R4	92.9 %
	進捗		→

2 地域における安全・安心を確保するため、普通救命講習の実施や消防団員の充実強化を図ります。

まちづくり指標			
現場での応急手当の実施率	目標値	R12	100 %
重症傷病者などの救急搬送件数に対して救急車到着時に応急手当が実施されている件数の割合（年間）	基準値	R3	58 %
	最新値	R4	51 %
	進捗		↘
	消防団員の充足率	目標値	R12
消防団員の定員数に対する実員数の割合（4月1日現在）	基準値	R4	81.6 %
	最新値	R5	81.6 %
	進捗		→

外部評価

■ 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート））

政策 3 安全・安心で環境にやさしいまちづくりが実現されていると思うか。

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,758 人	1,599 人	995 人	1,164 人
構成比	100%	43%	26%	31%

■ 現状の課題や今後の方策に関する意見等

カーボンニュートラル

- ・ 温室効果ガス排出量を削減するために事業者として様々な課題がある。
- ・ 情報収集や環境を整えるための設備投資等、事業者の負担が増えることが懸念されるので、自治体として何ができるのか検討する必要がある。

## 政策4 健康に暮らせるまちづくり

健康に暮らせるまちづくりを実現するために、3施策と8のまちづくり指標を設定しています。

政策4に関する市民の評価（市民満足度）は、実現されていると思う市民の割合が37%でした。まちづくり指標のうち目標達成が2指標、前進が4指標、後退が2指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策13** がん検診受診件数及び救急医療が整備されていると感じる市民の割合は目標値を達成しています。

**施策14** 各事業の参加者数は増加していますが、施設稼働率は低下しており、懇話会ではスポーツ環境づくりに関する意見がありました。

**施策15** 生涯学習事業の参加者数、文化芸術事業の参加者数及び史料の整理点数は増加していますが、図書等貸出資料数は減少しており、懇話会では文化や歴史の継承に関する意見がありました。

### 施策13 健康医療

健康医療課



#### ■ 施策の方向性

1 心身ともに健康な生活が送れるよう健康づくりの環境整備や各種検(健)診体制の充実に努めます。

まちづくり指標			
がん検診受診件数 本市が実施する各種がん検診の受診件数（年間）	目標値	R12	18,000 件
	基準値	R3	17,531 件
	最新値	R4	18,016 件
	進捗		達成
救急医療が整備されていると感じる市民の割合 アンケートで「夜間、休日等、医療機関の診療時間外に、必要な医療を受けることができると感じる」と回答した市民の割合（調査時点）	目標値	R12	50 %
	基準値	R4	46 %
	最新値	R5	54 %
	進捗		達成

■ 施策の方向性



1 市民や団体等が自主的に活動できるスポーツ環境づくりに取り組みます。

まちづくり指標			
施設稼働率	目標値	R12	85 %
スポーツ施設の使用可能区分に対して、使用された区分の割合 (年間)	基準値	R3	71 %
	最新値	R4	69 %
	進捗		
	目標値	R12	4,500 人
本市が主催するスポーツイベント事業の参加者数 (年間)	基準値	R3	2,182 人
	最新値	R4	4,022 人
	進捗		


施策 1 5 生涯学習・文化芸術

■ 施策の方向性

1 市民がいつでもどこでもだれでも学べる環境づくりに取り組みます。


まちづくり指標			
図書等貸出資料数	目標値	R12	960,000 点
図書館、移動図書館、公民館等図書室の個人貸出数 (年間)	基準値	R3	939,763 点
	最新値	R4	909,879 点
	進捗		
	目標値	R12	84,000 人
市主催生涯学習事業の参加者数 (年間)	基準値	R3	13,623 人
	最新値	R4	19,983 人
	進捗		

2 市民が文化芸術に親しむ環境づくりに取り組みます。

まちづくり指標			
文化芸術事業の参加者数	目標値	R12	34,000 人
市主催文化芸術事業の参加者数 (年間)	基準値	R3	8,770 人
	最新値	R4	22,770 人
	進捗		



### 3 郷土博物館の設置に向けて取り組みます。

まちづくり指標			
史料の整理点数	目標値	R12	17,600 点
郷土資料の調査を進め、史料目録に記載が完了したもの（累計）	基準値	R3	2,729 点
	最新値	R4	4,692 点
	進捗		

## 外部評価

- 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート））

政策4 健康に暮らせるまちづくりが実現されていると思うか。

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,758 人	1,378 人	1,006 人	1,374 人
構成比	100%	37%	27%	36%

- 現状の課題や今後の方策に関する意見等

### スポーツ環境づくり

- ・ コロナ禍の影響を受けていたスポーツイベントも参加者が戻りつつあるが、そもそも市内のスポーツ施設が質・量ともに不足している。
- ・ 座間市のスポーツ人口の増加や市民の体力向上を目指すのであれば、目標自体の見直しや若い世代からの多様な意見収集を行う必要がある。また、施設利用の選択肢も広げる取組が必要。

### 文化や歴史の継承

- ・ 文化財や歴史について情報提供する体制が整っていない。また、史料の整理も進んでいない。
- ・ 市民の協力を得ながら、史料を整理していく体制の構築が必要。

## 政策5 共に認め合い、支え合うまちづくり

共に認め合い、支え合うまちづくりを実現するために5指標と10のまちづくり指標を設定しています。

政策5に関する市民の評価（市民満足度）は、実現されていると思う市民の割合が21%でした。まちづくり指標のうち、目標達成が1指標、前進が5指標、後退が3指標、現状維持が1指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策16** 災害時避難行動要支援者個別支援計画書の策定率は目標値を達成し、成年後見制度利用支援事業実施件数及び地域福祉活動に参加している市民の割合は増加及び上昇していますが、支援計画作成件数は減少しています。懇話会では地域共生社会に関する意見がありました。

**施策17** 認知症サポーターの養成者数（累計）は増加していますが、生きがいを感じている高齢者の割合は低下しており、懇話会では多世代の交流に関する意見がありました。

**施策18** 要介護状態等の維持・改善率は低下しています。

**施策19** 相談支援の満足度は上昇していますが、施設入所者の地域生活移行者数は基準値から増減がありません。


**施策20** 新規就労者数は増加しており、懇話会では地域共生社会（生活困窮者への支援）に関する意見がありました。

### 施策16 地域福祉

地域福祉課

#### ■ 施策の方向性

1 権利擁護の充実のため、成年後見制度の利用促進に取り組めます。

まちづくり指標			
成年後見制度利用支援事業実施件数	目標値	R12	50 件
後見人等に対する報酬助成を行った件数（年間）	基準値	R3	36 件
	最新値	R4	42 件
	進捗		

2 地域の多様な主体が役割や特徴を最大限に発揮しながら、活動できるよう取り組みます。

まちづくり指標			
災害時避難行動要支援者個別支援計画書の策定率	目標値	R12	100 %
災害時避難行動要支援者名簿の登録者に対する個別支援計画の策定率（3月31日現在）	基準値	R3	0 %
	最新値	R4	100 %
	進捗		達成
	進捗		
地域福祉活動に参加している市民の割合	目標値	R12	56 %
アンケートで「現在参加している」「現在参加していないが、過去に参加したことがある」と回答した市民の割合（調査時点）	基準値	R4	31 %
	最新値	R5	35 %
	進捗		↗
	進捗		

3 複雑化・多様化する課題に対し、包括的に支援できる仕組みをつくります。

まちづくり指標			
支援計画作成件数	目標値	R12	250 件
生活困窮者に対する支援計画の作成件数（年間）	基準値	R3	245 件
	最新値	R4	74 件
	進捗		↘
	進捗		

## 施策 17 高齢者の支援

長寿支援課


### ■ 施策の方向性

1 関係機関や地域と連携し、高齢者が自立して生活できるように支援します。

まちづくり指標			
認知症サポーターの養成者数（累計）	目標値	R12	9,200 人
認知症サポーター養成講座を受講した人数（累計）	基準値	R3	6,171 人
	最新値	R4	7,205 人
	進捗		↗
	進捗		
生きがいを感じている高齢者の割合	目標値	R12	91 %
アンケートで「生きがいを感じている」と回答した高齢者の割合（調査時点）	基準値	R1	81.7 %
	最新値	R4	79 %
	進捗		↘
	進捗		

■ 施策の方向性

1 超高齢社会を迎える中で、安定的で持続可能な介護保険事業の運営を行います。


まちづくり指標			
要介護状態等の維持・改善率 要介護及び要支援認定者の介護状態が維持又は改善できている割合（年間）	目標値	R12	71 %
	基準値	R3	70.23 %
	最新値	R4	68.48 %
	進捗		

2 要介護者等が、本人の有する能力に応じて、日常生活を維持するために必要な介護サービスを提供します。

まちづくり指標		
〔再掲〕 要介護状態等の維持・改善率	目標値	
	基準値	
	最新値	
	進捗	

■ 施策の方向性

1 関係機関や地域と連携し、障がい者が自立して生活できるように支援します。


まちづくり指標			
施設入所者の地域生活移行者数 障がい者施設を退所して地域生活に移行した障がい者の人数（累計）	目標値	R12	5 人
	基準値	R3	0 人
	最新値	R4	0 人
	進捗		→
相談支援の満足度 障がい者等の福祉に関する相談支援の利用者満足度（調査時点）	目標値	R12	78 %
	基準値	R1	73 %
	最新値	R4	77 %
	進捗		

2 障がいに対する理解の普及啓発を行います。

まちづくり指標		
〔再掲〕 施設入所者の地域生活移行者数	目標値	
	基準値	
	最新値	
	進捗	

■ 施策の方向性

1 生活保護世帯や生活困窮者の自立を支援し、生活の安定に努めます。

まちづくり指標			
新規就労者数	目標値	R12	58 人
生活保護世帯で新規就労に至った受給者の人数（年間）	基準値	R3	53 人
	最新値	R4	56 人
	進捗		

外部評価

■ 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート））

政策 5 共に認め合い、支え合うまちづくりが実現されていると思うか。

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,758 人	803 人	1,183 人	1,772 人
構成比	100%	21%	31%	48%

■ 現状の課題や今後の方策に関する意見等

地域共生社会

- ・ まちづくり指標「避難行動要支援者個別支援計画書の策定率」の目標値が達成された一方、依然として発災時に誰が何をすべきなのか具体的な避難行動に対するイメージができていない。
- ・ 市民が隣同士互いに気遣い寄り添って生活していく環境を整えることが重要。今からできることを少しでも取り組んでもらいたい。
- ・ 国、県及び市それぞれの施策の連携、活用等によって生活困窮者への支援をすることが望ましい。

多世代の交流

- ・ 高齢化社会が進行する中、高齢者施設、保育施設等が連携して交流の機会を増やすことで、双方にとって良い環境をつくることことができる。

## 政策6 緑あふれる快適なまちづくり

緑あふれる快適なまちづくりを実現するために5指標と10のまちづくり指標を設定しています。

政策6に関する市民の評価（市民満足度）は、実現されていると思う市民の割合が55%でした。まちづくり指標のうち、目標達成が1指標、前進が2指標、後退が2指標、現状維持が5指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策21** コミュニティバスの利用者数は目標値を達成していますが、景観重要公共施設の指定数は基準値から増減がありません。

**施策22** 再開発事業数は基準値から増減がありませんが、管理不全な状態の空き家の数は増加しています。

**施策23** 公園等の維持管理団体数は基準値から増減がありませんが、一人当たりの都市公園面積は減少しています。

**施策24** 都市計画道路の整備率及び橋りょうの修繕率は基準値から増減がありません。

**施策25** 配水管布設替工事延長及び公共下水道（污水）接続率の指標は前進しています。

### 施策2.1 都市計画

都市計画課

#### ■ 施策の方向性

1 地域特性に配慮した土地利用とともに、良好な景観を形成します。

まちづくり指標			
景観重要公共施設の指定数	目標値	R12	13 件
座間市景観条例に基づく景観重要公共施設に指定している公共施設数（3月31日現在）	基準値	R3	6 件
	最新値	R4	6 件
	進捗		→

2 公共交通ネットワークの維持及び輸送力の向上を図ります。

まちづくり指標			
コミュニティバスの利用者数	目標値	R12	142,985 人
市内コミュニティバスの利用者数（年間）	基準値	R3	136,542 人
	最新値	R4	154,405 人
	進捗		達成

■ 施策の方向性

- 1 良好な市街地環境の形成に取り組みます。

まちづくり指標			
管理不全な状態の空き家の数	目標値	R12	50 件
本市が把握している空き家のうち管理不全な状態となっている 空き家の数（3月31日現在）	基準値	R2	101 件
	最新値	R4	117 件
	進捗		↓
再開発事業数	目標値	R12	5 事業
再開発事業の工事の完了数（累計）	基準値	R3	4 事業
	最新値	R4	4 事業
	進捗		→

施策 2 3 公園緑政

■ 施策の方向性

- 1 市民等との協働による公園、広場等の整備、維持管理を行うとともに、緑地、樹林地等の保全に努めます。

まちづくり指標			
一人当たりの都市公園面積	目標値	R12	5.17 m <sup>2</sup>
本市の総人口に対する市民一人当たりの都市公園面積（4月1日 現在）	基準値	R4	5.08 m <sup>2</sup>
	最新値	R5	5.07 m <sup>2</sup>
	進捗		↓
公園等の維持管理団体数	目標値	R12	39 団体
市民、関係団体による公園等の維持管理団体数（4月1日現在）	基準値	R4	31 団体
	最新値	R5	31 団体
	進捗		→

■ 施策の方向性


1 安全で快適な道路の整備、維持管理に取り組みます。

まちづくり指標			
都市計画道路の整備率	目標値	R12	71.4 %
都市計画道路の優先整備路線（座間南林間線、緑ヶ丘林間線）整備率（3月31日現在）	基準値	R3	54.6 %
	最新値	R4	<b>54.6 %</b>
	進捗		→
	目標値	R12	100 %
橋りょうの修繕率	基準値	R3	22.2 %
	最新値	R4	<b>22.2 %</b>
	進捗		→
	目標値	R12	100 %
橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕率（3月31日現在）	基準値	R3	22.2 %
	最新値	R4	<b>22.2 %</b>
	進捗		→
	目標値	R12	100 %


施策 2 5 上下水道

■ 施策の方向性

1 水道水を安定的に供給するとともに、次世代へおいしい座間の水をつなぎます。

まちづくり指標			
配水管布設替工事延長	目標値	R12	26.4 km
老朽化した配水管の布設替工事延長（累計） ※ 本指標は令和5年4月を0kmとして、毎年度3.3kmの布設替延長工事を目標とするものです。	基準値	R3	3.3 km
	最新値	R4	<b>3.7 km</b>
	進捗		
	目標値	R12	26.4 km

2 公共下水道の整備に取り組みます。

まちづくり指標			
公共下水道（污水）接続率	目標値	R12	100 %
市域の公共下水道（污水）の接続率（3月31日現在）	基準値	R3	97.5 %
	最新値	R4	<b>97.9 %</b>
	進捗		
	目標値	R12	100 %



## 外部評価

### ■ 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート））

政策6 緑あふれる快適なまちづくりが実現されていると思うか。

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,758 人	2,076 人	924 人	758 人
構成比	100%	55%	25%	20%

### ■ 現状の課題や今後の方策に関する意見等

- ・ 特記事項なし

## 政策 7 持続可能な行財政運営

持続可能な行財政運営を実現するために7指標と8のまちづくり指標を設定しています。

政策7に関する市民の評価（市民満足度）は、実現されていると思う市民の割合が41%でした。まちづくり指標のうち、目標達成が2指標、前進が3指標、後退が3指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策26** 全まちづくり指標の平均達成率は基準値である第四次座間市総合計画の計画期間終了時と比べると低下しており、懇話会では計画推進に関する意見がありました。

**施策27** 市ホームページの閲覧件数は目標値を達成しています。

**施策28** 基地の存在が負担だと思う市民の割合は上昇しており、懇話会では基地内の労働活動等に関する意見がありました。

**施策29** オンライン手続数は増加しています。

**施策30** 人権講演会や研修会への参加者数は目標値を達成し、審議会等の女性委員の割合は上昇しています。

**施策31** 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は上昇し、進捗としては後退しています。


**施策32** 公共施設再整備計画進捗率は上昇しており、懇話会では公共施設の利用に関する意見がありました。

### 施策 2 6 行政経営

総合政策課

#### ■ 施策の方向性

- 1 多様な主体と連携、協力しながら持続可能な行政経営を行います。

まちづくり指標			
全まちづくり指標の平均達成率	目標値	R12	100 %
ざま未来プランの全まちづくり指標の平均達成率（調査時点）	基準値	R2	18 %
	最新値	R5	13.04 %
	進捗		

### 施策 2 7 情報発信

秘書広報課


#### ■ 施策の方向性

- 1 多様な媒体を活用し、迅速かつ正確で分かりやすい情報発信を行います。

まちづくり指標			
市ホームページの閲覧件数	目標値	R12	5,000,000 件
市ホームページの閲覧件数（年間）	基準値	R1	4,425,125 件
	最新値	R4	7,258,913 件
	進捗		達成

■ 施策の方向性

1 キャンプ座間の整理、縮小、返還及び負担軽減策等の推進を求めます。


まちづくり指標			
基地の存在が負担だと思ふ市民の割合 アンケートで「基地の存在が負担だと感じたことがある」と回答した市民の割合（調査時点）	目標値	R12	13 %
	基準値	R4	26 %
	最新値	R5	28 %
	進捗		

2 厚木基地において空母艦載機着陸訓練等の激しい騒音を伴う訓練が行われないよう求めます。

まちづくり指標		
〔再掲〕 基地の存在が負担だと思ふ市民の割合	目標値	
	基準値	
	最新値	
	進捗	


■ 施策の方向性

1 デジタル化を推進します。

まちづくり指標			
オンライン手続数 スマートフォン等からのオンライン手続が可能な申請などの項目数（4月1日現在）	目標値	R12	100 項目
	基準値	R4	60 項目
	最新値	R5	79 項目
	進捗		

■ 施策の方向性


- 誰もが個性や能力を発揮して活躍できる社会の実現に向けて取り組みます。

まちづくり指標			
審議会等の女性委員の割合 審議会等に委嘱をしている委員に対する女性委員の割合（4月1日現在）	目標値	R12	50 %
	基準値	R4	38 %
	最新値	R5	39.5 %
	進捗		
人権講演会や研修会への参加者数 市主催の人権に関連した講演会や研修会への参加者数（年間）	目標値	R12	600 人
	基準値	R3	333 人
	最新値	R4	607 人
	進捗		達成

施策 31 財政運営

■ 施策の方向性


- 中長期的展望に立った財政見通しの下、社会情勢や実施計画と連動し、複雑化、多様化する市民ニーズに対応した効率的な予算編成に努めます。

まちづくり指標			
経常収支比率 財政構造の弾力性を表す数値（3月31日現在）	目標値	R12	80 %
	基準値	R3	93 %
	最新値	R4	99.4 %
	進捗		

施策 32 ファシリティマネジメントの推進

■ 施策の方向性

- 良質な資産を次世代に継承します。

まちづくり指標			
公共施設再整備計画進捗率 座間市公共施設再整備計画に基づく大規模改修などの進捗率（3月31日現在）	目標値	R12	100 %
	基準値	R3	17 %
	最新値	R4	30 %
	進捗		

## 外部評価

### ■ 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート））

政策7 持続可能な行財政運営が実現されていると思うか。

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,758人	1,528人	914人	1,316人
構成比	100%	41%	24%	35%

### ■ 現状の課題や今後の方策に関する意見等

#### 計画推進

- ・ しま未来プラン開始早々にもかかわらず、目標値に達したまちづくり指標がある。
- ・ 評価しづらいまちづくり指標が多い（基準値がコロナ禍の数値だと平常時との比較がしづらい、パーセンテージ表記の指標のみだと全体数が増加又は減少しているのか読み取りにくい、更新が数年に1度の指標だと取組が足りているかの判断が難しい等）。
- ・ 目標達成をゴールとせず、角度を変えながら施策の実現に取り組む必要がある。また、より高い目標値の設定や指標の変更についても検討が必要。
- ・ まちづくり指標の数値以外にも、コロナ禍前後における数値の比較、全体数の推移、期間中の取組が足りているか等判断できる参考資料があると分かりやすい。
- ・ しま未来プランの実現に向け、中長期的な目標と今できる目先の目標とを明確にしながら、同時進行していくことが重要。
- ・ しま未来プランの認知度が依然として低く、また、進捗管理では若年層から高齢層まで幅広い年齢層の市民から均等に意見を聴取できていない（特に若い世代）。
- ・ 認知度を上げるための訴求方法や若い世代も参画できるような意見の聴取方法の検討が必要。

#### 基地政策

- ・ 基地の中や基地関連で働き生活する人たちの事業活動や雇用への影響も考えながら基地政策に取り組んでいくことが必要。

#### DX（デジタルトランスフォーメーション）

- ・ デジタル化は今までアナログで行っていたことを電子化することが目的なのではなく、市民の生活環境を良くするための手段にすぎない。
- ・ デジタル化することを目的として何をデジタル化するのか考えるのではなく、今ある課題を解決するため、市民の生活をより良くするためにどうしたら良いかということの起点とし、その過程で活用できるデジタル技術があるのか段階的に具体化して考えることが重要。デジタル化の目的が何に当たるのか多岐にわたる視点で見ていく必要がある。

- ・ 公共施設再整備計画を推進するに当たり、大規模改修工事の影響により市民活動に使用できる会議室等の確保が難しい状況にある。
- ・ 多くの市民が公共施設を利用できるよう、施設の利用方法等について柔軟な対応が求められる。
- ・ 公共施設を魅力ある施設にするため、行政、民間企業、NPO団体等で連携した施設運営も含めて検討していくことが必要。